

応する説明等が急増している。負担の受け止め方としては、当直や救急、そして患者によるクレームが大きな問題で、これらの改善が求められている。医師の意見によると、多くの業務が他の職種で代替可能で、特に非診療活動は病院としての対応を求めている。

結果として約半数の医師の周辺で業務の負担が増加したことによって、離職した医師があり、医師調査では、周辺に辞めた医師がいる、もしくは辞めたいと言っている医師がいるが 85.0% にのぼっている。しかし、施設調査では 4 割に留まっている。医師調査では約半数の医師の周辺で、離職した人がいる。この差は、施設管理者の場合、現場からの距離と、私的病院の状況が影響していると考えられる（図 16）。

医師の離職

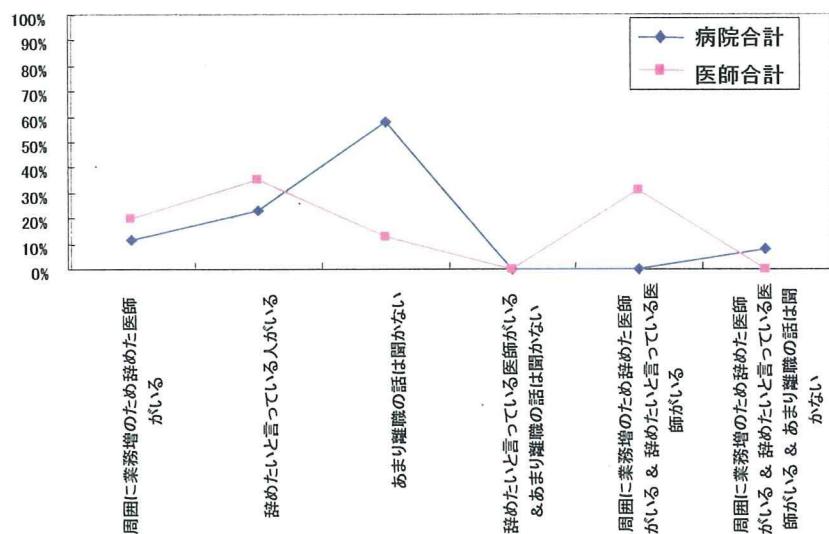


図 16

多くの医師は、医師の業務が高度な技術や注意力の集中が必要と感じており、また仕事上のコントロールが難しく、さらに同僚や上司の支援についても問題があると感じている。女性医師への支援は、女性医師は男性医師より少ないと感じている。結果として、職務や家庭の満足度はやや満足を含めると 85.0% に達するが、満足は 28.0% に留まっている。この中でも大学病院の満足度は低い。

これらのストレスの背景として、近年の医療訴訟の増加が浮かび上がる。多くの医師は医療事故をめぐる世論がマスコミによって過大に報道され、患者意識が変化していると感じている。

2) 施設管理者と医師との比較

増加した業務について医師は、患者家族への説明、紹介状等書類作成、会議の回数を上位 3 位に挙げているのに対し、施設管理者は、紹介状等書類作成、患者家族への説明、会議の回数と順位は異なるが、同じ項目を挙げている。医師の場合は大学病院に、施設管理

者の場合は私的病院に回答者が多いので結果が引っ張られる傾向にあるといえよう(図17～18)。

業務の増加 医師調査

	大学病院	公的病院	私的(一般)病院	合計
1. 在院患者数	51%	37%	40%	47%
2. 新規入院患者数	60%	48%	54%	57%
3. 救急患者数	59%	48%	57%	57%
4. 外来患者数	63%	50%	59%	60%
5. 手術件数	60%	53%	48%	56%
6. 教育	73%	72%	69%	72%
7. 会議の回数	81%	80%	75%	80%
8. 自己学習・研修	37%	29%	36%	35%
9. 患者・家族への説明	84%	82%	81%	83%
10. 患者からのクレーム	69%	62%	64%	67%
11. 診療録の記載・入力	75%	69%	77%	75%
12. 紹介状・報告書・診断書作成	80%	84%	83%	81%
13. 保険書類作成	69%	68%	73%	70%

図17

業務の増加 施設調査

	大学病院	公的病院	私的(一般)病院	合計
1. 在院患者数	10%	36%	37%	34%
2. 新規入院患者数	50%	55%	48%	49%
3. 救急患者数	60%	45%	31%	35%
4. 外来患者数	40%	45%	24%	28%
5. 手術件数	80%	36%	40%	44%
6. 教育	80%	73%	48%	53%
7. 会議の回数	80%	82%	76%	77%
8. 自己学習・研修	50%	36%	48%	47%
9. 患者・家族への説明	90%	82%	80%	81%
10. 患者からのクレーム	90%	91%	56%	63%
11. 診療録の記載・入力	80%	82%	75%	76%
12. 紹介状・報告書・診断書作成	80%	82%	86%	85%
13. 保険書類作成	70%	73%	74%	74%

図18

大学病院や公的病院の施設管理者では、患者からのクレームが1位にリストアップされている。しかし、負担感の増加では、医師は当直、保険書類作成、患者からのクレームを上位3位に挙げており、施設管理者では、患者からのクレーム、紹介状等書類作成、保険

書類作成を上位 3 位に挙げており、順位や項目が異なっている。これも施設管理者は私的病院の意見の反映が大きく、大学病院や公的病院の施設管理者では当直の負担感は高い順位となっている（図 19～20）。

負担がある 医師調査

	大学病院	公的病院	私的（一般）病院	合計
1. 当直	89.3%	88.1%	86.6%	88.5%
11. 保険書類作成	85.8%	88.2%	86.3%	86.3%
7. 患者からのクレーム	86.1%	78.7%	84.5%	84.6%
2. 救急患者数	86.6%	78.4%	78.5%	83.6%
10. 紹介状・報告書・診断書作成	81.8%	83.8%	83.9%	82.5%
4. 会議の回数	76.3%	74.7%	71.2%	74.9%
8. 指示や予約	70.0%	67.7%	67.9%	69.2%
3. 教育	70.2%	66.1%	67.8%	69.0%
6. 患者・家族への説明	68.8%	71.4%	64.2%	68.2%
9. 診療録の記載・入力	64.5%	65.3%	64.9%	64.7%
5. 自己学習・研究	38.7%	40.7%	34.8%	38.1%

図19

負担がある 施設調査

	大学病院	公的病院	私的（一般）病院	合計
1. 当直	90.0%	100.0%	69.8%	74.8%
11. 保険書類作成	90.0%	81.8%	83.9%	84.3%
7. 患者からのクレーム	90.0%	90.9%	86.2%	87.0%
2. 救急患者数	80.0%	72.7%	60.0%	63.5%
10. 紹介状・報告書・診断書作成	90.0%	81.8%	86.2%	86.1%
4. 会議の回数	70.0%	90.9%	72.4%	74.1%
8. 指示や予約	60.0%	81.8%	59.8%	62.0%
3. 教育	80.0%	72.7%	46.4%	52.4%
6. 患者・家族への説明	80.0%	90.9%	70.9%	73.8%
9. 診療録の記載・入力	90.0%	90.9%	73.6%	76.9%
5. 自己学習・研究	50.0%	36.4%	37.6%	38.7%

図20

改善の必要がある項目については、医師は当直、患者からのクレーム、救急患者数の順で上位 3 位を占めているが、施設管理者では患者からのクレーム、保険書類等作成、紹介

状等書類作成が上位3位を占め、順位が異なっている（図21～22）。

改善の必要がある 医師調査

	大学病院	公的病院	私的(一般)病院	合計
1. 当直	83.7%	86.2%	83.6%	84.0%
7. 患者からのクレーム	82.0%	75.8%	85.6%	81.8%
2. 救急患者数	82.2%	78.9%	79.0%	81.1%
11. 保険書類作成	80.0%	77.8%	85.7%	80.8%
10. 紹介状・報告書・診断書作成	72.6%	75.3%	82.5%	75.1%
4. 会議の回数	74.0%	71.2%	68.9%	72.5%
8. 指示や予約	67.8%	66.0%	70.9%	68.1%
3. 教育	65.1%	67.3%	60.0%	64.4%
9. 診療録の記載・入力	61.4%	62.3%	66.7%	62.6%
6. 患者・家族への説明	54.5%	60.5%	58.1%	56.2%
5. 自己学習・研究	44.7%	42.5%	41.8%	43.8%

図21

改善の必要がある 施設調査

	大学病院	公的病院	私的(一般)病院	合計
1. 当直	100.0%	87.5%	66.2%	71.4%
7. 患者からのクレーム	88.9%	88.9%	75.7%	78.3%
2. 救急患者数	88.9%	77.8%	56.9%	62.7%
11. 保険書類作成	90.0%	88.9%	74.7%	77.7%
10. 紹介状・報告書・診断書作成	77.8%	77.8%	73.0%	73.9%
4. 会議の回数	80.0%	88.9%	68.5%	71.7%
8. 指示や予約	80.0%	77.8%	63.0%	66.3%
3. 教育	70.0%	55.6%	45.1%	48.9%
9. 診療録の記載・入力	80.0%	88.9%	69.9%	72.8%
6. 患者・家族への説明	44.4%	88.9%	59.7%	61.1%
5. 自己学習・研究	22.2%	66.7%	37.7%	39.1%

図22

ここまで結果をまとめると、医師、施設管理者共に事務処理の増加があるとの認識は共有されているが、負担感や改善の必要の観点からは医師は当直、施設管理者は医療安全からの課題、即ち患者からのクレームが問題と、微妙なズレを示している。

3. 医療安全に対する考え方

訴訟のリスクについては、医師、施設管理者共に気になるが大半を占め、とりわけ、医師では半数以上が大変気になると回答している。以前と比べて感謝されることが少ないと回答したのは、医師、施設管理者共に3分の2を占め、その認識にはズレがない（図23）。

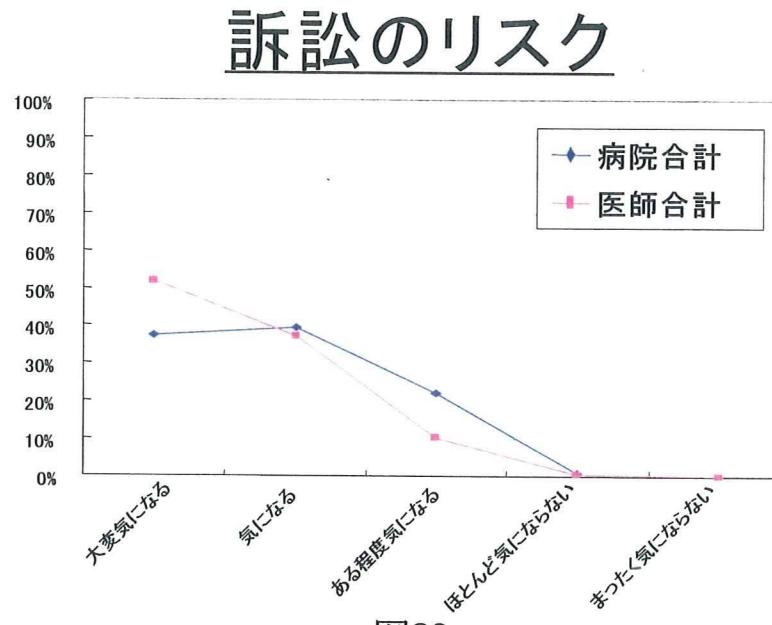


図23

4. 医師業務の代替性

医師業務の代替性については、医師調査では20%前後に最頻値があり、施設管理者では30%前後に最頻値がある。施設管理者がより多くの業務が代替可能と感じていることが明らかとなった（図24）。

他職種に代替可能な医師業務の割合

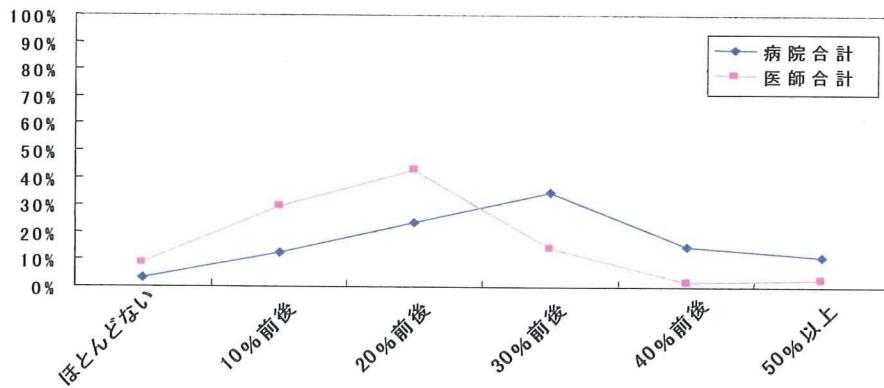


図24

5. ストレス調査

本調査は、厚生労働省の研究によって開発された他の職種との比較可能な標準的調査である。特に仕事のコントロール、仕事の量的負担および同僚や上司の支援の度合いを散布図で示し、比較することができる。この調査によると、仕事の量とコントロールや職場の支援について 100 を全国標準とする総合得点が算出可能で、点数が低ければストレスが少ない状況となり、他の産業や専門職種とベンチマークが可能となっている。

男性については、仕事の量的負担及びコントロール共に平均より悪く、合わせて大学病院が 125、公的病院が 119、私的病院が 114 と全国平均や専門職の平均よりも高い。一方、職場の支援に関しては、同僚・上司共に全国平均よりも良好で、特に上司の支援は良い。私的病院 88.0、大学病院 90、公的病院 94 の順となっている。

女性については、男性と同様、仕事の量的負担やコントロールについて全国平均より悪く、大学病院で 114、私的病院で 111、公的病院 110 と全国平均より悪い値を示している。一方、職場支援については男性と同様、支援が良く、公的病院、私的病院共に 83.0、大学病院 86.0 と全国平均より大きな支援を得ているとの値が示された。これらを総合すると、男女共に仕事の量的負担とコントロールが職場の課題といえよう（図 25～26）。

◆職業性ストレス簡易調査票を用いた分析

男性

設立主体	人数	量的負担 (点)	コントロール (点)	上司の支援 (点)	同僚の支援 (点)	量コントロー ル	職場の支援 (点)	総合
大学病院	693.0	10.4	6.8	7.9	8.7	125.0	90.0	112.0
公的病院	164.0	9.9	6.9	7.9	8.3	119.0	94.0	111.0
私的病院	247.0	9.7	7.2	8.2	8.7	114.0	88.0	100.0

簡易調査票用仕事のストレス判定図

(男性用)

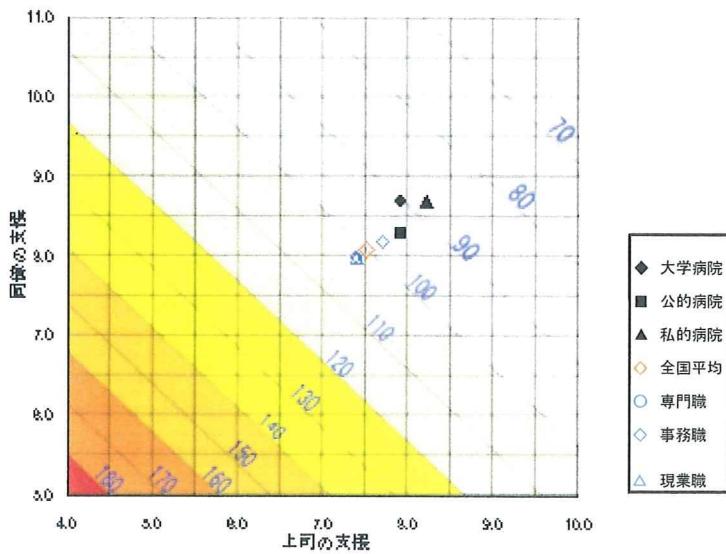
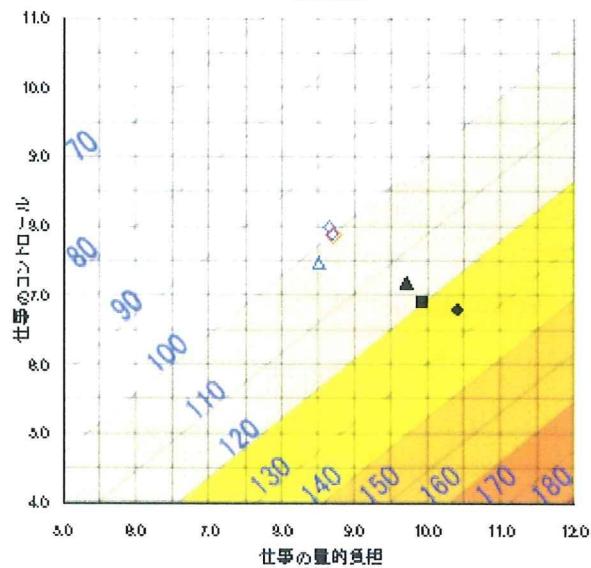


図25

女性

設立主体	人数	量的負担 (点)	コントロール (点)	上司の支援 (点)	同僚の支援 (点)	量コントロー ル	職場の支援	総合
大学病院	249.0	10.1	6.6	7.8	8.5	114.0	86.0	98.0
公的病院	62.0	9.9	7.2	8.0	8.6	110.0	83.0	91.0
私的病院	84.0	9.9	7.0	8.1	8.5	111.0	83.0	92.0

簡易調査票用仕事のストレス判定図

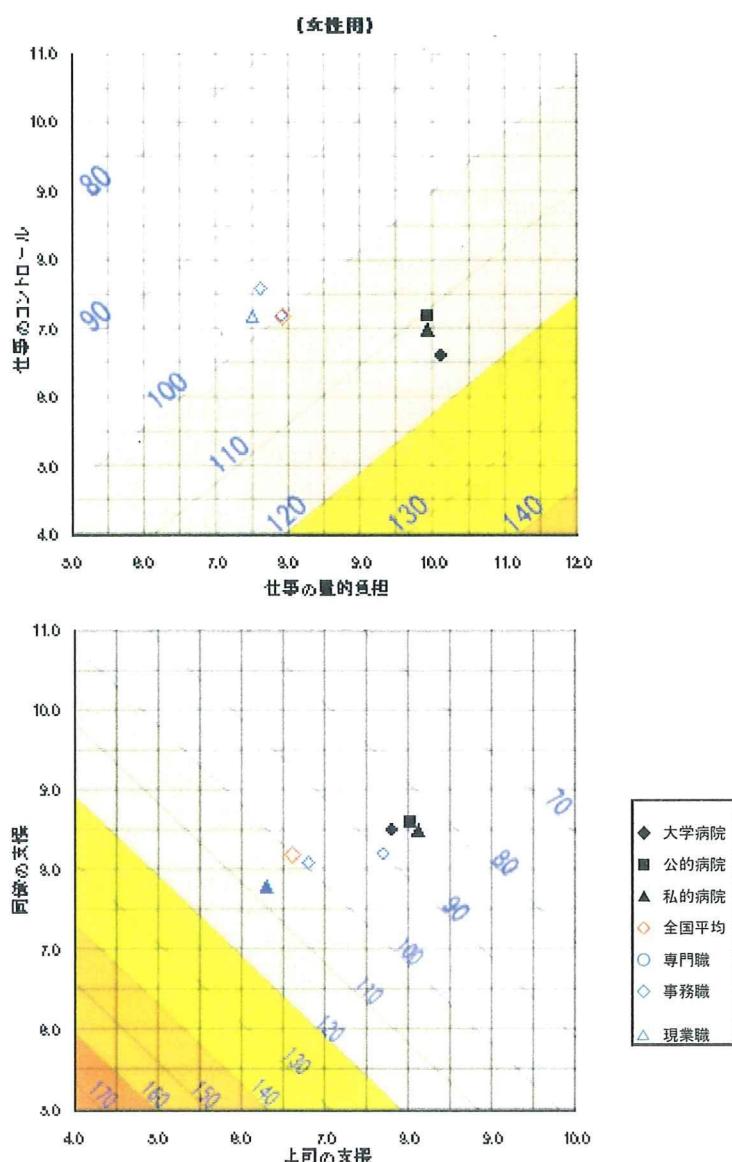


図26

資料編

I. データ分析

第Ⅰ部 医師調査

第Ⅱ部 施設調査

II. 調査票

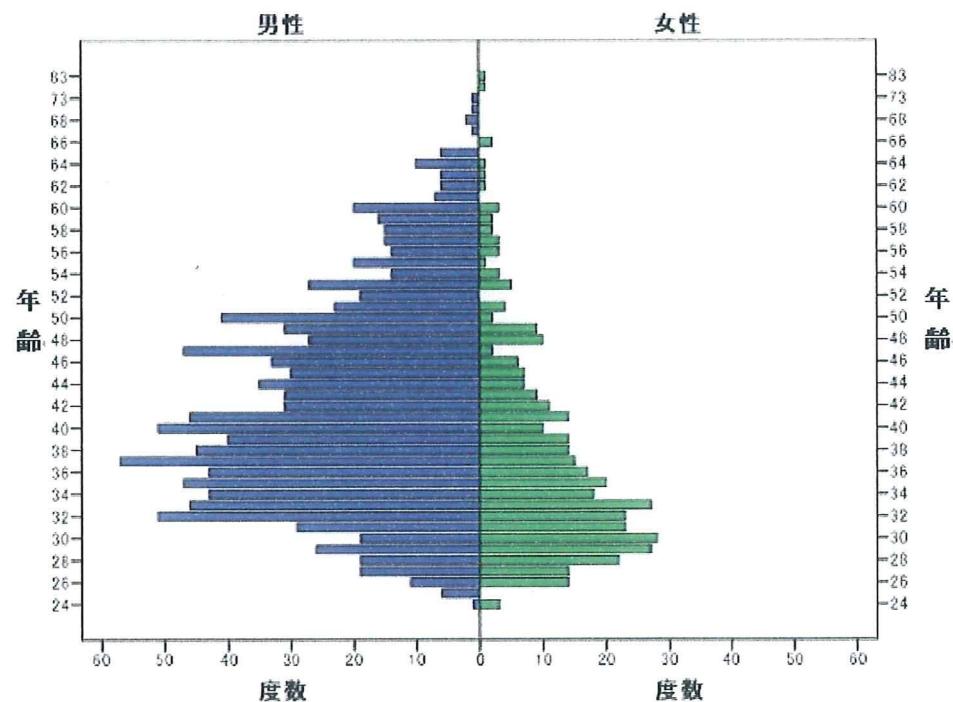
第Ⅰ部 医師調査

1. データ アンケート回答者の属性

1.1 アンケート回答者数 アンケート回答者の総数 1533 名の内訳、大学病院 966 名（男性 713 名、女性 253 名）、公的病院 231 名（男性 184 名、女性 47 名）、私的病院 336 名（男性 251 名、女性 85 名）

表 1 アンケート回答者数（設立主体別×性別）

	男性	女性	合計
大学病院 度数	713	253	966
%	73.80%	26.20%	100.00%
公的病院 度数	184	47	231
%	79.70%	20.30%	100.00%
私的病院 度数	251	85	336
%	74.70%	25.30%	100.00%
合計 度数	1148	385	1533
%	74.90%	25.10%	100.00%



グラフ 1 アンケート回答者数 (性別)

1.2 年齢 各施設の回答者の平均年齢は 41.36 歳。各施設の平均年齢は、大学病院…41.04 歳、公的病院…40.57 歳、私的病院…42.81 歳

表 2 平均年齢（設立主体別）

	平均値	度数	標準偏差	最小値	最大値
大学病院	男性	42.39	711	9.043	24
	女性	37.18	248	9.589	24
	合計	41.04	959	9.461	24
公的病院	男性	41.23	184	10.04	26
	女性	37.93	46	9.127	26
	合計	40.57	230	9.933	26
私的病院	男性	44.88	251	10.494	25
	女性	36.65	84	8.876	24
	合計	42.81	335	10.712	24
合計	男性	42.75	1146	9.607	24
	女性	37.16	378	9.363	24
	合計	41.36	1524	9.845	24

1.3 性別（年齢階級）

表 3 10 歳階級 度数分布（設立主体別×性別）

		10歳階級								合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	
大学病院	男性	74	311	203	99	20	0	0	0	707
	女性	24	110	73	31	11	0	0	0	249
	合計	98	421	276	130	31	0	0	0	956
公的病院	男性	34	60	52	28	8	0	0	0	182
	女性	9	15	15	6	2	0	0	0	47
	合計	43	75	67	34	10	0	0	0	229
私的病院	男性	13	84	80	51	19	1	1	1	249
	女性	9	35	19	14	5	0	1	1	83
	合計	22	119	99	65	24	1	2	2	332
合計	男性	121	455	335	178	47	1	1	1	1138
	女性	42	160	107	51	18	0	1	1	379
	合計	163	615	442	229	65	1	2	2	1517

1.4 臨床経験年数

表 4 平均臨床経験年数（設立主体別）

		平均値	度数	標準偏差	最小値	最大値
大学病院	男性	16.93	701	8.861	0	42
	女性	12.01	246	8.993	0	50
	合計	15.65	947	9.149	0	50
公的病院	男性	15.82	180	10.068	1	41
	女性	11.22	45	7.223	1	30
	合計	14.9	225	9.728	1	41
私的病院	男性	19.2	246	10.505	0	47
	女性	11.22	81	8.358	1	36
	合計	17.22	327	10.581	0	47
合計	男性	17.25	1127	9.495	0	47
	女性	11.74	372	8.649	0	50
	合計	15.88	1499	9.589	0	50

1.5 子供の人数

表 5 子供の人数（設立主体別×性別）

	子供なし	0歳～小学校以上			卒業			0歳～中学校			中学校以上			0歳～小学生		
		0歳～小学校以上	学生	中学校	卒業	中学校	卒業	中学校	卒業	中学校	卒業	中学校	卒業	中学校	合計	
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
大学病院	320	214	63	41	31	1	18	1	689							
	女性	100	82	28	19	14	1	3	0	247						
	合計	420	296	91	60	45	2	21	1	936						
公的病院	80	53	14	13	11	0	8	0	179							
	女性	19	16	7	2	1	0	2	0	47						
	合計	99	69	21	15	12	0	10	0	226						
私的病院	98	60	33	23	20	0	12	0	246							
	女性	37	21	9	7	5	0	4	0	83						
	合計	135	81	42	30	25	0	16	0	329						
合計	男性	498	327	110	77	62	1	38	1	1114						
	女性	156	119	44	28	20	1	9	0	377						
	合計	654	446	154	105	82	2	47	1	1491						

1.6 診療科

表 6 診療科別人数（設立主体別×性別）

		診療科分類													合計		
		内科系			外科系			産婦人科			小児科			精神科			
		内科	外科	産婦人科	小兒科	精神科	麻酔科	病理	放射線科	医学科	その他の眼科	耳鼻科	皮膚科	眼科	合計		
大学病院	男性	238	274	34	24	20	13	4	26	10	11	13	6	31	704		
	女性	69	112	15	15	6	9	1	4	4	3	6	2	5	251		
	合計	307	386	49	39	26	22	5	30	14	14	19	8	36	955		
公的病院	男性	49	57	13	23	6	6	2	9	6	7	0	2	3	183		
	女性	17	13	2	4	0	0	1	3	0	4	1	0	1	46		
	合計	66	70	15	27	6	6	3	12	6	11	1	2	4	229		
私的病院	男性	94	89	12	8	7	15	3	5	1	5	4	0	3	246		
	女性	30	29	4	3	3	1	1	3	1	5	1	2	1	84		
	合計	124	118	16	11	10	16	4	8	2	10	5	2	4	330		
合計	男性	381	420	59	55	33	34	9	40	17	23	17	8	37	1133		
	女性	116	154	21	22	9	10	3	10	5	12	8	4	7	381		
	合計	497	574	80	77	42	44	12	50	22	35	25	12	44	1514		

※ 設問 A 問 5. 選択肢 10. その他()を選択した回答のうち、次にあげる診療科名は別項目に変更し集計した。

- ・ 10. その他(め、眼科)→眼科として集計
- ・ 10. その他(リハビリテーション、リハビリテーション科、リハビリ科、整リハビリテーション)→外科系として集計
- ・ 10. その他(形成外科、口腔外科、小児外科、整形外科、泌尿器科)→外科系として集計
- ・ 10. その他(病理科、病理診断、病理診断科)→病理として集計
- ・ 10. その他(耳鼻咽喉科、耳鼻科)→耳鼻科として集計
- ・ 10. その他(皮膚科)→皮膚科として集計

1.7 主たる勤務施設における勤務形態

表 7 常勤・非常勤人数（設立主体別×性別）

		常勤	非常勤	合計
大学病院	男性	676	33	709
	女性	232	21	253
	合計	908	54	962
公的病院	男性	167	13	180
	女性	43	4	47
	合計	210	17	227
私的病院	男性	229	16	245
	女性	78	5	83
	合計	307	21	328
合計	男性	1072	62	1134
	女性	353	30	383
	合計	1425	92	1517

1.8 職位

表 8 職位別人数（設立主体別×性別）

		2)医員またはレジデント	3)助教	4)医長、講師、医局長	5)部長、科長、副部長、教授、准教授	院長、施設長、副理事長、副院長、副施設長	合計
大学病院	1)研修医	(卒後2年まで)	(卒後3年目以降)				
	男性	14	155	171	174	167	32
	女性	8	125	55	41	23	1
公的病院	合計	22	280	226	215	190	253
	男性	4	50	39	40	31	33
	女性	2	22	10	5	20	47
私的病院	合計	6	72	49	45	35	47
	男性	4	57	35	39	66	231
	女性	4	35	27	8	50	251
合計	合計	8	92	62	47	75	336
	男性	22	262	245	253	264	102
	女性	14	182	92	54	36	7
合計	合計	36	444	337	307	300	1533

※設問 A 問 7.その他は除く

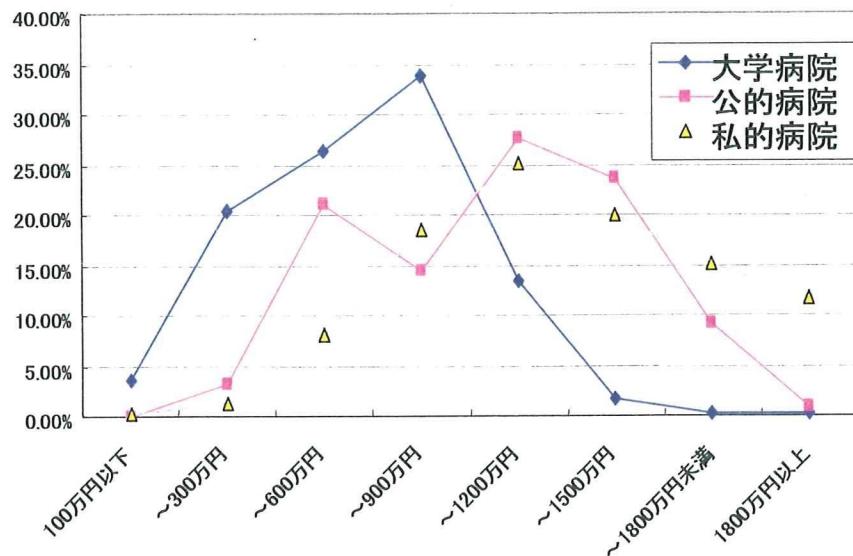
2. 現状定量統計

2. 1. (1) 収入 主たる勤務施設から得られる年収

表 9-1 年収別人数（主たる勤務施設から得られる年収、設立主体別）

		100万円 以下	~300万 円	~600万 円	~900万 円	~1200万 円	~1500 万円	~1800万 円未満	1800万円 以上	合計
大学病院	度数	35	195	252	323	129	15	2	3	954
	%	3.70%	20.40%	26.40%	33.90%	13.50%	1.60%	0.20%	0.30%	100.00%
公的病院	度数	0	7	48	33	63	54	21	2	228
	%	0.00%	3.10%	21.10%	14.50%	27.60%	23.70%	9.20%	0.90%	100.00%
私的病院	度数	1	4	27	62	84	67	51	39	335
	%	0.30%	1.20%	8.10%	18.50%	25.10%	20.00%	15.20%	11.60%	100.00%
合計	度数	36	206	327	418	276	136	74	44	1517
	%	2.40%	13.60%	21.60%	27.60%	18.20%	9.00%	4.90%	2.90%	100.00%

収入の分布-3施設別



グラフ 2 年収（主たる勤務施設から得られる年収、設立主体別）

表9-2 年収(主たる勤務施設から得られる年収、設立主体別×職位別)

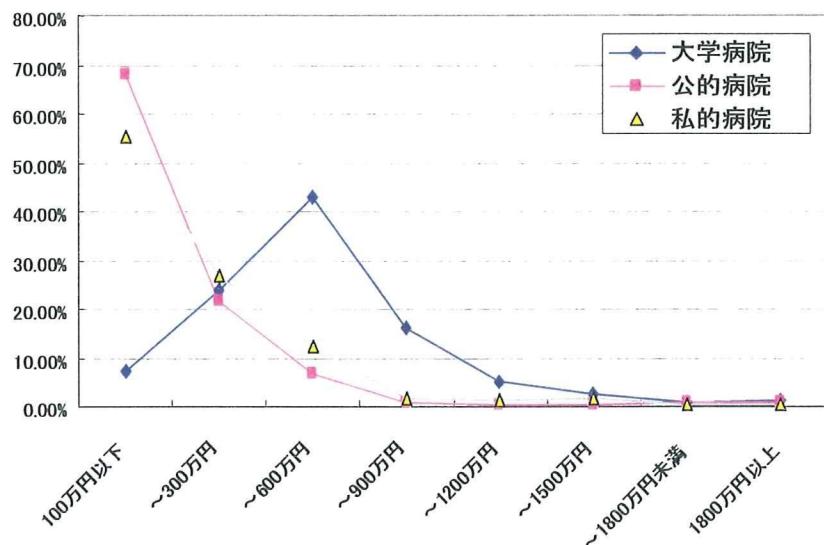
		A 問8 主たる勤務施設-年収								
		1) 100万円以下	2) ~300万円	3) ~600万円	4) ~900万円	5) ~1200万円	6) ~1500万円	7) ~1800万円	8) 1800万円以上	合計
大学病院	1) 研修医 (卒後2年まで)	度数	0	13	10	0	0	0	0	23
		%	0.0%	56.5%	43.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	2) 医員またはレジデント (卒後3年目以降)	度数	10	136	34	34	42	10	4	273
		%	3.7%	49.8%	12.5%	12.5%	15.4%	3.7%	1.5%	100.0%
	3) 助教	度数	0	8	103	104	7	1	0	223
		%	0.0%	3.6%	46.2%	46.6%	3.1%	0.4%	0.0%	100.0%
	4) 医長、講師、医局長	度数	0	2	24	89	53	32	8	212
		%	0.0%	0.9%	11.3%	42.0%	25.0%	15.1%	3.8%	100.0%
	5) 部長、科長、副部長、教授、准教授	度数	0	0	3	41	67	42	28	191
		%	0.0%	0.0%	1.6%	21.5%	35.1%	22.0%	14.7%	100.0%
	6) 理事長、院長、施設長、副理事長、副院長、副施設長	度数	0	0	0	1	4	5	10	32
		%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	12.5%	15.6%	31.3%	100.0%
	合計	度数	10	159	174	269	173	90	50	954
		%	1.0%	16.7%	18.2%	28.2%	18.1%	9.4%	5.2%	100.0%
公的病院	1) 研修医 (卒後2年まで)	度数	0	2	4	0	0	0	0	6
		%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	2) 医員またはレジデント (卒後3年目以降)	度数	2	11	20	21	16	2	0	72
		%	2.8%	15.3%	27.8%	29.2%	22.2%	2.8%	0.0%	100.0%
	3) 助教	度数	0	1	33	14	0	0	0	48
		%	0.0%	2.1%	68.8%	29.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	4) 医長、講師、医局長	度数	0	0	12	18	7	6	1	45
		%	0.0%	0.0%	26.7%	40.0%	15.6%	13.3%	2.2%	100.0%
	5) 部長、科長、副部長、教授、准教授	度数	0	0	1	9	16	5	3	35
		%	0.0%	0.0%	2.9%	25.7%	45.7%	14.3%	8.6%	100.0%
	6) 理事長、院長、施設長、副理事長、副院長、副施設長	度数	0	0	0	0	3	3	7	24
		%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	29.2%	100.0%
	合計	度数	2	14	70	62	42	16	11	230
		%	0.9%	6.1%	30.4%	27.0%	18.3%	7.0%	4.8%	100.0%
私的病院	1) 研修医 (卒後2年まで)	度数	0	4	4	0	0	0	0	8
		%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	2) 医員またはレジデント (卒後3年目以降)	度数	4	15	26	25	13	3	3	91
		%	4.4%	16.5%	28.6%	27.5%	14.3%	3.3%	3.3%	100.0%
	3) 助教	度数	0	5	41	16	0	0	0	62
		%	0.0%	8.1%	66.1%	25.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	4) 医長、講師、医局長	度数	0	0	7	20	11	8	0	47
		%	0.0%	0.0%	14.9%	42.6%	23.4%	17.0%	0.0%	100.0%
	5) 部長、科長、副部長、教授、准教授	度数	0	0	0	17	35	12	9	75
		%	0.0%	0.0%	0.0%	22.7%	46.7%	16.0%	12.0%	100.0%
	6) 理事長、院長、施設長、副理事長、副院長、副施設長	度数	0	0	0	0	2	14	16	52
		%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	26.9%	30.8%	100.0%
	合計	度数	4	24	78	78	61	37	28	335
		%	1.2%	7.2%	23.3%	23.3%	18.2%	11.0%	8.4%	100.0%

2. 1. (2) 収入 アルバイトや講演などによる年収

表 10-1 年収（アルバイトや講演などによる年収、設立主体別）

	100万円 以下	~300万 円	~600万 円	~900万 円	~1200万 円	~1500 万円	~1800万 円未満	1800万円 以上	合計
大学病院	度数 35	195	252	323	129	15	2	3	954
	% 3.70%	20.40%	26.40%	33.90%	13.50%	1.60%	0.20%	0.30%	100.00%
公的病院	度数 0	7	48	33	63	54	21	2	228
	% 0.00%	3.10%	21.10%	14.50%	27.60%	23.70%	9.20%	0.90%	100.00%
私的病院	度数 1	4	27	62	84	67	51	39	335
	% 0.30%	1.20%	8.10%	18.50%	25.10%	20.00%	15.20%	11.60%	100.00%
合計	度数 36	206	327	418	276	136	74	44	1517
	% 2.40%	13.60%	21.60%	27.60%	18.20%	9.00%	4.90%	2.90%	100.00%

副収入の分布-3設立主体別



グラフ 3 年収（アルバイトや講演等による年収、設立主体別）

表 10-2 年収（アルバイトや講演等による年収、設立主体別×職位別）

		A 問9 アルバイトや講演-年収								合計			
		1) 100万円以下 2) ~300万円 3) ~600万円 4) ~900万円		5) ~1200万円 6) ~1500万円 7) ~1800万円 8) 1800万円以上									
設立主体	職位	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
	1) 研修医（卒後2年まで）	18	94.7%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大学病院	2) 医員またはレジデント（卒後3年目以降）	80	62	81	37	7	2	0	1	270	0.0%	0.0%	100.0%
	3) 助教	15	62	100	27	10	3	2	2	221	0.0%	0.0%	100.0%
	4) 医長、講師、医局長	53	43	74	25	9	5	1	2	212	0.0%	0.0%	100.0%
	5) 部長、科長、副部長、教授、准教授	53	50	42	16	8	11	5	5	190	0.0%	0.0%	100.0%
	6) 理事長、院長、施設長、副理事長、副院長、副施設長	14	10	5	0	2	0	0	0	31	0.0%	0.0%	100.0%
	合計	233	228	302	105	36	21	8	10	943	0.0%	0.0%	100.0%
公的病院	1) 研修医（卒後2年まで）	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0.0%	0.0%	100.0%
	2) 医員またはレジデント（卒後3年目以降）	33	21	10	4	0	0	0	0	68	0.0%	0.0%	100.0%
	3) 助教	3	11	20	9	4	2	0	0	49	0.0%	0.0%	100.0%
	4) 医長、講師、医局長	12	10	15	6	2	0	0	0	45	0.0%	0.0%	100.0%
	5) 部長、科長、副部長、教授、准教授	4	10	11	4	1	3	0	2	35	0.0%	0.0%	100.0%
	6) 理事長、院長、施設長、副理事長、副院長、副施設長	9	7	3	0	0	1	2	0	22	0.0%	0.0%	100.0%
	合計	65	59	59	23	7	6	2	2	223	0.0%	0.0%	100.0%
私的病院	1) 研修医（卒後2年まで）	8	0	0	0	0	0	0	0	8	0.0%	0.0%	100.0%
	2) 医員またはレジデント（卒後3年目以降）	41	25	18	4	0	0	0	0	88	0.0%	0.0%	100.0%
	3) 助教	3	13	35	6	3	1	1	0	62	0.0%	0.0%	100.0%
	4) 医長、講師、医局長	14	7	14	5	2	1	0	2	45	0.0%	0.0%	100.0%
	5) 部長、科長、副部長、教授、准教授	19	15	25	10	2	1	3	0	75	0.0%	0.0%	100.0%
	6) 理事長、院長、施設長、副理事長、副院長、副施設長	17	18	8	0	0	4	0	0	47	0.0%	0.0%	100.0%
	合計	102	78	100	25	7	7	4	2	325	0.0%	0.0%	100.0%

2. 1. (3) on call 診療の報酬

表 11 on call 診療の報酬（設立主体別）

	1) 常に報酬が出る	2) 場合により報酬が出る	3) 報酬は出ない	4) 交通費のみが出る	5) その他
大学病院 度数	22	150	752	16	25
%	2.3%	15.5%	77.9%	1.7%	2.6%
公的病院 度数	44	103	63	11	8
%	19.2%	45.0%	27.5%	4.8%	3.5%
私的病院 度数	43	109	161	8	16
%	12.8%	32.3%	47.8%	2.4%	4.7%
合計 度数	109	362	976	35	49
%	7.1%	23.6%	63.7%	2.3%	3.2%

2. 1. (4) 待機時（出勤しなかった場合）の報酬

表 12 待機時（出勤しなかった場合）の報酬（設立主体別）

	1) 待機のみの場合も報酬が出る	2) 待機のみの場合、報酬は出ない	3) その他	合計
大学病院 度数	36	841	60	937
%	3.8%	89.8%	6.4%	100.0%
公的病院 度数	13	200	14	227
%	5.7%	88.1%	6.2%	100.0%
私的病院 度数	9	300	24	333
%	2.7%	90.1%	7.2%	100.0%
合計 度数	58	1341	98	1497
%	3.9%	89.6%	6.5%	100.0%

2. 1. (5) 主たる勤務施設から得られる給与に対する満足度

表 13 主たる勤務施設から得られる給与に対する満足度（設立主体別）

	2) 勤務時間、勤務内容			合計
	1) 勤務時間、勤務内容に相応しい給与である	内容に比べて給与が低い	3) 勤務時間、勤務内容に比べて給与が高い	
大学病院 度数	62	901	3	966
%	6.4%	93.3%	0.3%	100.0%
公的病院 度数	63	166	0	229
%	27.5%	72.5%	0.0%	100.0%
私的病院 度数	132	201	7	340
%	38.8%	59.1%	2.1%	100.0%
合計 度数	257	1268	10	1535
%	16.7%	82.6%	0.7%	100.0%

2. 2 業務

2. 2. (1) 在院患者数(2003 年と 2008 年の半年程度を比較)

表 14 在院患者数(設立主体別)

B 問 1 在院患者数						
	大変増加した 度数	増加した 度数	変わらない 度数	減少した 度数	大変減少した 度数	合計
大学病院 度数	98	320	331	84	6	839
%	11.7%	38.1%	39.5%	10.0%	0.7%	100.0%
公的病院 度数	7	49	90	31	0	177
%	4.0%	27.7%	50.8%	17.5%	0.0%	100.0%
私的病院 度数	24	113	115	32	5	289
%	8.3%	39.1%	39.8%	11.1%	1.7%	100.0%
合計 度数	129	482	536	147	11	1305
%	9.9%	36.9%	41.1%	11.3%	0.8%	100.0%

2. 2. (2) 新規入院患者数(2003 年と 2008 年の半年程度を比較)

表 15 新規入院患者数(設立主体別)

B 問 2 新規入院患者数						
	大変増加した 度数	増加した 度数	変わらない 度数	減少した 度数	大変減少した 度数	合計
大学病院 度数	126	366	292	47	7	838
%	15.0%	43.7%	34.8%	5.6%	0.8%	100.0%
公的病院 度数	8	70	74	25	0	177
%	4.5%	39.5%	41.8%	14.1%	0.0%	100.0%
私的病院 度数	31	141	83	27	4	286
%	10.8%	49.3%	29.0%	9.4%	1.4%	100.0%
合計 度数	165	577	449	99	11	1301
%	12.7%	44.4%	34.5%	7.6%	0.8%	100.0%

2. 2. (3) 救急患者数(2003 年と 2008 年の半年程度を比較)

表 16 救急患者数(設立主体別)

B 問 3 救急患者数						
	大変増加した 度数	増加した 度数	変わらない 度数	減少した 度数	大変減少した 度数	合計
大学病院 度数	121	342	303	57	7	830
%	14.6%	41.2%	36.5%	6.9%	0.8%	100.0%
公的病院 度数	30	87	42	17	2	178
%	16.9%	48.9%	23.6%	9.6%	1.1%	100.0%
私的病院 度数	40	115	99	29	3	286
%	14.0%	40.2%	34.6%	10.1%	1.0%	100.0%
合計 度数	191	544	444	103	12	1294
%	14.8%	42.0%	34.3%	8.0%	0.9%	100.0%

2. 2. (4) 外来患者数(救急患者除く、2003 年と 2008 年の半年程度を比較)

表 17 外来患者数(救急患者除く、設立主体別)

B 問 4 外来患者数(救急患者を除く)						
	大変増加した 度数	増加した 度数	変わらない 度数	減少した 度数	大変減少した 度数	合計
大学病院 度数	139	386	254	53	2	834
%	16.7%	46.3%	30.5%	6.4%	0.2%	100.0%
公的病院 度数	13	71	70	23	0	177
%	7.3%	40.1%	39.5%	13.0%	0.0%	100.0%
私的病院 度数	48	125	82	31	3	289
%	16.6%	43.3%	28.4%	10.7%	1.0%	100.0%
合計 度数	200	582	406	107	5	1300
%	15.4%	44.8%	31.2%	8.2%	0.4%	100.0%

2. 2. (5) 手術件数(2003 年と 2008 年の半年程度を比較)

表 18 手術件数(設立主体別)

B 問 5 手術件数						
	大変増加した	増加した	変わらない	減少した	大変減少した	合計
大学病院 度数	135	278	226	59	7	705
%	19.1%	39.4%	32.1%	8.4%	1.0%	100.0%
公的病院 度数	8	57	62	18	0	145
%	5.5%	39.3%	42.8%	12.4%	0.0%	100.0%
私的病院 度数	28	112	67	31	10	248
%	11.3%	45.2%	27.0%	12.5%	4.0%	100.0%
合計 度数	171	447	355	108	17	1098
%	15.6%	40.7%	32.3%	9.8%	1.5%	100.0%

2. 2. (6) 教育(卒後研修なども含む、2003 年と 2008 年の半年程度を比較)

表 19 教育(卒後研修なども含む、設立主体別)

B 問 6 教育(卒後研修なども含む)						
	大変増加した	増加した	変わらない	減少した	大変減少した	合計
大学病院 度数	237	412	144	26	5	844
%	30.5%	48.8%	17.1%	3.1%	0.6%	100.0%
公的病院 度数	33	93	43	11	0	180
%	18.3%	51.7%	23.9%	6.1%	0.0%	100.0%
私的病院 度数	40	103	108	25	3	279
%	14.3%	36.9%	38.7%	9.0%	1.1%	100.0%
合計 度数	330	608	295	62	8	1303
%	25.3%	46.7%	22.6%	4.8%	0.6%	100.0%

2. 2. (7) 会議の回数(2003 年と 2008 年の半年程度を比較)

表 20 会議の回数(設立主体別)

B 問 7 会議の回数						
	大変増加した	増加した	変わらない	減少した	大変減少した	合計
大学病院 度数	335	360	144	2	1	842
%	39.8%	42.8%	17.1%	0.2%	0.1%	100.0%
公的病院 度数	42	88	40	4	1	175
%	24.0%	50.3%	22.9%	2.3%	0.6%	100.0%
私的病院 度数	73	147	63	9	1	293
%	24.9%	50.2%	21.5%	3.1%	0.3%	100.0%
合計 度数	450	595	247	15	3	1310
%	34.4%	45.4%	18.9%	1.1%	0.2%	100.0%